

平成 25 年度 中間決算の概要

主要計数

(単位:億円)	24年度中間期	25年度中間期	増減
業務粗利益(信託勘定償却前)	18,316	18,452	+136
国債等債券関係損益	2,752	770	▲1,981
営業費(▲)	10,144	11,202	+1,058
実質業務純益	8,171	7,250	▲921
与信関係費用総額 ^(*1)	▲622	257	+880
株式等関係損益	▲1,735	434	+2,170
株式等償却	▲1,868	▲108	+1,760
その他の臨時損益 ^(*2)	▲112	562	+675
経常利益	5,700	8,504	+2,803
連結中間純利益	2,904	5,302	+2,397

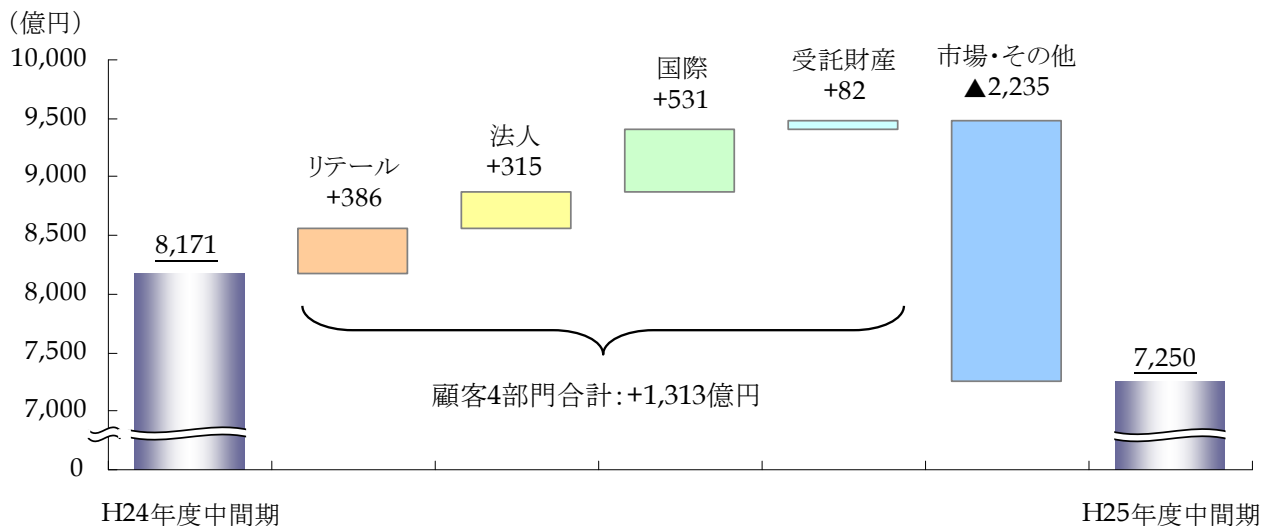
(*1) 与信関係費用(信託勘定)＋一般貸倒引当金繰入額＋与信関係費用(臨時損益)＋貸倒引当金戻入益
 ＋偶発損失引当金戻入(与信関連)＋償却債権取立益

(*2) 持分法投資損益を含む

連結事業本部別収益の状況

- ◇ リテール・法人が環境の好転を的確に捉え、国内顧客部門が大幅に伸張
- ◇ 実質業務純益は減益なるも、国債等債券関係損益を除けば大幅増益

[実質業務純益^(*1) 増減内訳]



(*1) 連結事業本部別増減は管理ベース

バーゼルⅢ連結自己資本比率

	24年度末	25年度中間期末	増減
普通株式等Tier1比率 ^(*)	11.70%	11.77%	0.07%
Tier1比率	12.74%	13.12%	0.38%
総自己資本比率	16.68%	16.84%	0.16%

(*) なお、普通株式等 Tier1 比率（完全実施ベース）は 11.6%

25 年度業績目標・配当予想

(単位:億円)	24年度実績		25年度 ^(*)	
	中間期実績		中間期実績	
連結当期(中間)純利益	2,904	8,526	5,302	9,100
普通株式配当/株	中間6円	年間13円	中間7円	年間14円

(*) 通期業績目標は 7,600 億円から 9,100 億円へ上方修正

25 年度下期の取組方針

- ◇ 『3つの協働』の更なる深化によるグループ総合力の最大限の発揮
 - 「グループ会社間」、「リテール・法人部門間」、「国内・海外部門間」の『3つの協働』を更に深化させ、「MUFG ならでは」の付加価値を創造し、より多くのお客様に選ばれる存在に
- ◇ 日本経済再生に向けた金融としての貢献
 - 社会の期待に応え、日本を代表する金融グループとして、日本経済の再生を金融面から確りとサポート
- ◇ グローバル成長モデルの着実な進化
 - 中長期的な成長に向けた土台作りとして、タイのアユタヤ銀行をプラットフォームとして活用し、アジアにおける成長戦略を加速化

以上

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし前提(仮定)は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Report をはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものを参照ください。